広報 こすど

発行所　小須戸町公民館　電話　1　5　番
発行人　須戸町長　岩田　一郎
編集人　小須戸町広報委員会
印刷所　株式会社　新潟日報社
毎月1日発行　1部　金10円

町から力・ハエをなくし 住みよい町つくりを

明るい町つくりとか、ハエのいない楽しい町にしようと、当町では数年前より「環境衛生協議会」が結成され、各地域において実践されております。

ここに、それらの実体を紹介して、各地域における衛生活動についての認識を、更に深めて、明るい町にしたいと思います。

新潟県では環境衛生にまつわる運動として、約十年前から「住みよい郷土をつくる運動協議会」という団体を組織して各都市ごと（郡部は郡単位）に支部を置き、地域の環境美化と住民の健康保持に努めてまいりました。

その後も、この運動を進めるにあたり会の名称も「新潟県住みよい郷土建設協議会」（略称「住み協」）と改称され、とりわけ前期十九年には、全県にわたってこの運動を展開し、数多くの県外視察団を受け入れたにもかかわらず、一人の食中毒、伝染病患者の発生を見ることなく、成功裡にその幕を閉じることができたのであります。

その後、県体も無事終わり、県民の健康保持のために、この運動をひき続けようという、下部からの強い盛り上がりによって、全県民総参加のもとで年々か、ハエ及びネズミ駆除の事業を進めてきましたが、本町でもこの趣旨にもとづき、昭和四十一年に「小須戸町環境衛生協議会」が発足し、当時はささやかな行事を実施してきましたが、その後一年、二年と経過するにしたがって住民側も役員も、だんだん理解するようになり「自分達の環境は自分達で整備する」をモットーに各公民館単位に環境衛生委員を設置して、町内一斉清掃、ハエ・ネズミ駆除の実施、ゴミ処理の適正、薬剤散布を行ない、とりわけ駅前の駐車場の整備、道路の補修、公園の整備、水路の清掃、ゴミ捨場の適正、薬剤散布を次第に広範囲に取り組んだ結果、昭和四十二年から部落の行政単位をそのまま衛生活動の実践単位としてその活動が適切且つ効果的であるということから、昭和四十二年度の県知事より「環境衛生協議会」が結成され、各地域において実践されております。

ここに、それらの実体を紹介して、各地域における衛生活動についての認識を、更に深めて、明るい町にしたいと思います。

人口動態

（43・6・1現在）

人口　一〇、九〇二人
世帯数　二、二〇四戸
出生　九人
死亡　七人
婚姻　十組

衛生会役員

会長　副会長　第1支部長　第2支部長　第3支部長　第4支部長　計

衛生会長

区長会役員

会長　副会長　第1支部長　第2支部長　第3支部長　第4支部長　第5支部長　第6支部長　第7支部長　計

部落

第1区　五反野
第2区　須戸
第3区　須戸
第4区　横川
第5区　矢代田
第6区　横川
第7区　野積

地区において

地区において高度な実践運動が展開されるようにするため、昨年より「住みよい郷土建設功労者」の表彰を実施しております。

今年も引続き活動が展開され、その成果が期待されております。

その三　新保衛生会

この部落は戸数約二〇〇戸で、以前は他の町村同様に清掃、特に薬剤協布の問題、婦人会が環境衛生、特に薬剤協布の問題、婦人会が環境衛生、特に薬剤協布の問題を担当しておりましたが、昨年より矢代田横川等、他の先進部落の活動状況に刺激されて、部落住民の要望により、当時の区長が衛生会の可否についてアンケートを取り、部落民共同の力の結集がやがては住みよい環境となって、生活面に影響を及ぼすようになり感謝されています。

その二　横川衛生会

横川の部落が衛生活動を本格的に取り組んだのは、昭和四十二年から部落の行政単位をそのまま衛生活動の実践単位としてその活動が適切且つ効果的であるということから、昭和四十二年度の県知事より「環境衛生協議会」が結成され、各地域において実践されております。

ここに、それらの実体を紹介して、各地域における衛生活動についての認識を、更に深めて、明るい町にしたいと思います。

新潟県では環境衛生にまつわる運動として、約十年前から「住みよい郷土をつくる運動協議会」という団体を組織して各都市ごと（郡部は郡単位）に支部を置き、地域の環境美化と住民の健康保持に努めてまいりました。

その後も、この運動を進めるにあたり会の名称も「新潟県住みよい郷土建設協議会」（略称「住み協」）と改称され、とりわけ前期十九年には、全県にわたってこの運動を展開し、数多くの県外視察団を受け入れたにもかかわらず、一人の食中毒、伝染病患者の発生を見ることなく、成功裡にその幕を閉じることができたのであります。

その後、県体も無事終わり、県民の健康保持のために、この運動をひき続けようという、下部からの強い盛り上がりによって、全県民総参加のもとで年々か、ハエ及びネズミ駆除の事業を進めてきましたが、本町でもこの趣旨にもとづき、昭和四十一年に「小須戸町環境衛生協議会」が発足し、当時はささやかな行事を実施してきましたが、その後一年、二年と経過するにしたがって住民側も役員も、だんだん理解するようになり「自分達の環境は自分達で整備する」をモットーに各公民館単位に環境衛生委員を設置して、町内一斉清掃、ハエ・ネズミ駆除の実施、ゴミ処理の適正、薬剤散布を次第に広範囲に取り組んだ結果、昭和四十二年から部落の行政単位をそのまま衛生活動の実践単位としてその活動が適切且つ効果的であるということから、昭和四十二年度の県知事より「環境衛生協議会」が結成され、各地域において実践されております。

ここに、それらの実体を紹介して、各地域における衛生活動についての認識を、更に深めて、明るい町にしたいと思います

精神障害者に人権保護を

最近、精神障害者による犯罪や、その人権をめぐるいろいろの問題がとりあげられ、その対策が注目されています。

そこで、精神障害者の問題と、家庭裁判所の果たしている役割について説明してみましょう。

わが国の精神障害者は昭和三十八年の実態調査によれば約一二四万人でこのうち精神病院に入院して、措置を必要とするものは二八万人といわれています。そして精神衛生対策は強化されてきているものの、なお病床数は不足しており、また一二四万人の六四・七パーセントは医療も特別の指導も受けずに放置されているという結果になっています。

精神障害者は、自分が病気であるという意識をもっていないことが多くまた、精神障害そのものに対する偏見が社会に根強く存在することもあって、早期に適切な医療や指導を受けさせることがなかなか実行されず放置されたり、監禁に等しい扱いを受けていたり、あるいは正規の手続きをふまずに入院させるというようなことが、まだまだあるようです。精神障害者が他人に対して危害を加えることを防止することは当然でありますが、同時にその人権も尊重されねばならないことはいうまでもないことでありそのために適切な医療を受けさせ、またその財産の保全をはかるなどの保護を行なう必要です。

精神衛生対策そのものは厚生行政の問題でありますが、精神障害者の保護については、家庭裁判所も重要な役割をもっております。

精神衛生法は、精神障害者の保護のための諸施策の一環として『保護義務者』の制度を設けています。保護義務者は医療に協力して、精神障害者に治療を受けさせ、また本人が自分自身を傷つけまた他人に害を及ぼさないようその行動を監督し財産上の利益を保護するなど、精神障害者の生活全般にわたって保護することを任務としております。そして精神障害者を精神病院に入院させる場合に同意するとか、退院手術や中絶手術をする場合に同意するという、精神障害者の保護や人権にかかわる重大権限をもっています。

この保護義務者には、精神障害者の後見人、配偶者、親権者の順位でなることが法定されていますが、これらの人がないときには、精神障害者を扶養する義務のある者の中から、家庭裁判所が保護義務者を選任します。また先順位の人が実質的にこの重要な保護義務を果たす能力がないときは家庭裁判所が申立てによって、その順位を変更することができることになっています。

（以上のべた保護義務者がないときや、遠くにいて保護義務を行なえないときなどには、精神障害者の居住地の市町村長が保護義務者になります。）

この保護義務者の選任や順位変更の申立ては親族、精神病院長、市町村長、都道府県知事などのほか、精神障害者のために損害をうけた近隣の人など、利害関係のある人から精神障害者の居住地の家庭裁判所にすることになっています。

これらの事件は従来ごく少数でしたが、次第にふえ昨年は約六九〇〇件に達しています。しかしこの数は精神病院入院者の数に比べれば少なく、精神障害者の入院について保護義務者の同意が必要な場合にも、この手続きが行なわれずにすまされていることがあるようです。保護義務者は、精神障害者の保護にとって重要な権限、任務をもつものですから必ず正規の手続きを経て、適切な保護がはかられるよう心がけてほしいものです。

ところで保護義務者は精神障害者の生活全般にわたる保護を行ないますが、本人に代わってその財産を管理するなどの法律行為をすることはできません。しかし精神障害者は自分の行為の結果についての判断能力に欠ける者ですから、単独で財産の管理や売買などをすると、損害を受けるおそれがあり、また取引きをする第三者に対しては当該本人が精神障害者であることをあらかじめ知らせて不測の損害を受けることを避けさせることが必要です。そのために設けられているのが禁治産、準禁治産宣告の制度です。

禁治産というのは、精神障害のため自分の行為の結果を認識するだけの意思能力のない、いわば五、六歳位の判断能力以下の者で、家庭裁判所により禁治産宣告を受けた者です。この禁治産宣告の申立ては、本人、配偶者、四親等内の親族、後見人、保佐人などのほか制度の趣旨が本人と共に第三者の保護をはかるものですから、検察官からもすることができます。申立てがあると家庭裁判所は、医師などの鑑定を経た上で、この制度の保護を与えるのが適当か否かを判断して、宣告すべきか否かを決定するのです。禁治産宣告を受けると後見人がつけられます本人に配偶者がいればその者が後見人（法定後見人）となりますが、配偶者がない場合は家庭裁判所が選任（選定後見人）します。禁治産者は法律上の無能力者ですから、本人がした財産上の行為はすべて取消すことができ、従って有効な財産上の行為をするためには、後見人が代理してしなければなりません。しかし婚姻とか離婚、養子縁組など身分に関する行為については本人が正常な状態に回復しているときに自分の意思に基づいてしなければなりません。また禁治産者を精神病院に入院させようとする場合及びすでに入院中の精神障害者に禁治産の宣告があり、今後もその入院を続けさせようとする場合には、後見人は家庭裁判所に申立てをして、許可を得なければなりません。

台風シーズンです　充分な注意を

ことしも台風や大雨の季節がやってきました。

台風は不可抗力ですがふだんの心がまえや注意で被害を最少限度にくいとめることができます。

尊い生命と、たいせつな財産を守るため、早めに準備をしましょう。

一、台風の被害を防ぐために

(イ) 建物を補強する

台風の圧力は想像以上に大きいものですこのことを頭に入れて、へい、雨戸、看板などを風に負けないよう、しっかりしたものにすることが必要です。

(ロ) 地形をよく知っておくこと

台風に伴なって、おそろしいのは大水です。川の堤防よりも低い家は、堤防が切れたり、はんらんした場合の処置を考えておきましょう。

(ハ) 水の流れをよくすること

土地の低いところや川の近くでは下水溝をさらって、水の流れをよくしておきましょう。

また、盛土の排水が悪いと崖崩れのもとになりますから、崖下の家はたえず注意しましょう。

二、避難命令が出たら

(イ) まず火の始末と戸締り

台風のときに火事を出すと、消防もつかない大きな被害がでます。また空巣ねらいもありますから、家を出るときは戸締りを忘れないようにしましょう。

(ロ) 避難するときの服装

活動しやすい服装にすること。女の人はスラックスやズボンなどがよいでしょう

また、暴風雨の中を避難するときは、瓦やガラスが飛んできて危険ですから、防空ずきんや座ぶとんなどで頭を守ることも必要です。

(ハ) 避難の際の持ち物

だいたい次の物を準備しましょう。

二日分くらいの食糧と飲み水、着がえと現金、薬やホータイ懐中電灯やローソク

(ニ) その他

① なるべく一人歩きをしない。

② 避難するときは家内者の指示を守る

③ 避難場所ではお互いに助け合う。

④ 避難場所は町役場で、そのつど指定しますが、もし急な場合は各自の判断により、一番安全な場所へ避難すること。

毎月第三日曜日は「家庭の日」です

一家で楽しくすごしましょう。

男子警察官を募集！

わたくしたちの郷土である新潟県が、また市町村が平和であってほしいと、だれもが願うものであります。

そのため、犯罪や交通事故などの社会悪と取組む警察官の活動を見のがすわけにはいかないと思います。

新潟県警では、その警察の使命に生きがいを感じる、健康で意志強固の若い人を求めています。

採用の資格などは次のとおりです。くわしいことは新津警察署または最寄りの派出所、駐在所におたずね下さい。

一、申込受付期間

昭和四十三年六月十日から昭和四十三年九月七日まで。

二、受験資格

(1) 年令

昭和十八年四月二日から昭和二十五年四月一日までに生まれた男子。ただし来年高校卒業見込みの者は昭和二十六年四月一日までに生まれた男子。

(2) 学歴

学歴は問わないが、高等学校卒業程度の学力を必要とします

(3) 身体

身長一・六〇以上、裸眼視力〇・六以上（きょう正視力一・〇以上の者は裸眼視力〇・一以上）

三、試験

(1) 第一次試験

昭和四十三年九月十五日（日曜日）新潟市など県内六カ所で筆記試験、身体検査を行ないます。

(2) 第二次試験

第一次試験合格者に対し、昭和四十三年十月下旬に新潟市など県内三カ所において口述試験などを行ないます。

四、採用

第一次、第二次試験合格者は昭和四十四年四月に県警察学校に入校します。

五、待遇

警察官は一般公務員の給与より高くなっております。

（昭和四十三年春現在）

初任給 警察官二二、三〇〇円 一般公務員一八、四〇〇円 民間企業一八、二〇〇円 その他退職後の生活も安定し制服などの現品も支給されます。

六、その他

その人の努力次第で署長になる道が開けております。

みなさん 入賞おめでとう

赤ちゃんコンクール

さる五月、新潟日報社で行なわれた新潟県赤ちゃんコンテストにおいて三市中蒲の代表として参加した当町新保、帆苅康佳ちゃん（写真）は、めでたく入賞しました。

昭和四十三年度小須戸町健良児は左記の二十名が選ばれました。

男　児

千葉　武志　長男　修　小須戸

小林　一郎　長男　稔　矢代田

高野　俊郎　二男　和吉　小向

清水　秀昭　二男　正勝　小須戸

斎藤　智行　長男　行雄　竜玄

川瀬　清治　長男　清二　矢代田

五十嵐　博　三男　新一　小向

川瀬　豊　二男　昭栄　新保

矢部　恭樹　長男　守　学校町

田沢　良幸　長男　良一　矢代田

女　児

古泉　まゆみ　長女　金市　矢代田

清水　真由美　長女　傭夫　小須戸

城丸　香代子　長女　雄二　天ケ沢

五十嵐　由美子　長女　良一　新保

井上　貴子　二女　富夫　小向

吉井　照美　長女　俊明　新保

久保　万利子　長女　保男　小須戸

渡辺　恵子　二女　吉夫　小須戸

浅見　奈緒子　長女　誠治　小須戸

吉田　智子　長女　広次　小須戸

個人事業税（県税）第１期分の納期限は８月３１日です

納期限迄に納税して下さい

選挙人名簿の登録についてお知らせ

九月一日現在で満二十才になられた方で、まだ登録申出をされていない方は、必ず印鑑持参で役場へ申出てください。

小須戸町選挙管理委員会

夏の犯罪や事故をなくそう

夏はとかく開放的になるので、犯罪や事故が多くなります。

そこで次のことがらについて注意し、楽しく夏をすごしてください。

こどもの水死事故

水によるこどもの事故に、いぜん多く起きております。幼児に対してはよく見守りが大切ですし中学生、小学生に対してはよく教え、また危険な池や川には柵をするなどして、事故のないよう気をつける。

少年の不良化防止

夏休みは、こどもたちにとって楽しい時期ですが、反面、一番不良化しやすいときでもあるから夜遊び、飲酒、喫煙などにふけらないように注意し、友人関係や持ち物などに気をつけて、少しでも変わったきざしがあったら注意する。

ち漢防止

開放的なところからち漢も目立ちます。女性の夜の一人歩きはできるだけつつしみ、明るい道をとおること。

忍び込み盗の予防

暑いために戸締りがおろそかになりやすくドロボウがねらうことになります。戸締りだけは忘れないでください。

夢と科学の万国博　会員募集中

二年後の昭和四十五年には日本の大阪で「人類の進歩と調和」をテーマに、世界八十カ国が参加して、それぞれの国の文化と技術の粋を結集した「万国博」が開かれます。

二十世紀最大のページェントー夢と科学の祭典です。各国の産業と文化が会場いっぱいにくりひろげられることでしょう。なんといってもこんな行事は二度と見られません。

特にお子さんには、外国のことや未来のことに大きな興味をもっているので、ぜひ一度見せておきたいと思います。

またとない機会ですし大きくなられたら、きっとお役にたつでしょうしあなた自身にも良き一生の思い出になるにちがいありません。

現在推定入場者三〇〇〇万人ともいわれ、開催期間中は相当の混雑が予想されております。

そこで郵便局をはじめ各金融機関では「万国博見学旅行を募集」しております。万一のことを考え、一人につき一〇〇万円の傷害保険をおかけして、みなさんにご満足いただけるようお世話することになっております。お一人でもグループでも結構です。早めに郵便局はじめ、関係機関に申込みください。

取扱っている機関

小須戸郵便局

小須戸農業協同組合

第四銀行小須戸支店

相互銀行小須戸支店

協栄信用組合

なお各機関ごとに特色があるかと思います。

おめでとう渡辺さん

さる六月、新津警察署において防犯功労者として、新津地区防犯連合会長から表彰状が授与されました。

この中で当町竜玄新田の剣道五段錬士、渡辺清次郎氏も表彰されました。

表彰の内容は、長く剣道の指導を通じて、青少年の健全育成に多大の尽力をされたとの功績によるものです。

渡辺さんは少年剣道士たちから慈父の如く慕われていることは有名で、氏の青少年育成への情熱に敬意を払うと共に、今後のご活躍を期待してやみません。

小須戸町剣道振興会

梅雨上る

小須戸町俳句同好会

黄に黒に映え炎天の稲そよぐ　太枝

梅漬けて峯の道ゆくす客の前　芳人

吉田また咲き吉田あり土用入り　香月

梅雨上る気配大胆に溝音振る　虎秋

水捌く音の朝から梅雨上る　かしお

夕端居尖鋭烈々に思うこと　小流

灯ともして淋しき蝉とわかるまで　山溪

生きる苦働く若の汗くさし　越燿

押しやりて涼み寝茣蓙復の膝　碧水

かくし水ありてかくし田不如帰　蒔夫

バス待つや森山木の香涼し　斉次

夜雨降るや緑蔭の上り早々と　竜郎

驟雨にけぶる山脈木曾蒸　千代

梅雨明けや小波すべるおけさ丸　流水